



「発達障がいサポーター講座」第16回

2026年3月9日（月） 19:00～20:30

場 所: 明德児童館 2階 遊戯室

対 象: どなたでも

申 込: 前日まで（電話申込可: 明德児童館 075-708-8834）

発達障がいと診断を受けた方々が、大人になって社会で活躍するとき、どのような力が必要になってくるのでしょうか？ そのために、子どもの育ちの中で大切にしたいことは、どんなことでしょうか？

多くの子どもたちを診てこられた小児科医のお話と、当事者の方々の体験談を聴き、発達障がいへの理解を深められたらと思います。

《今回のゲスト》

NPO 法人 まるばひいらぎ 理事長 小児科医 有井 悦子先生

長く診療を続けてこられましたが、予防と早期手当をめざし閉院。

子ども・保護者・支援者への手立てを、地域の方々と協働したいと、
地域に出向いてくださるお医者さんです。

当事者 明德児童館職員

介助ボランティアからスタートし、現在アルバイト職員として勤務中！

…発達障がいサポーター講座について…

この講座は、2014年に「そらまめプロジェクトKYOTO」の協力で、第1回を始めました。「発達障がい」と言っても、その特性は多様です。発達障がいのある人は、どんな場面で、どんな困り事を抱えているのでしょうか。どんな配慮や手助けがあればよいのでしょうか。皆で一緒に勉強して、一緒に話し合い、発達障がいについて理解を深めましょう。

地域子育て支援基幹ステーション

《申込・お問い合わせ》 明德児童館 Tel 075-708-8834

明德児童館では、2014年12月から
「そらまめプロジェクトKYOTO」の
協力で、“発達障がい”をテーマとした
勉強会を定期的を開催してきました。

発達障がいの特性があり、学習や生活の面で特別な教育的支援を
必要とする子どもは、8.8%程度いるとも言われています。
近年は子どもだけでなく、大人の発達障がいの課題も話題に
なっています。

「さまざまな個性を認め合い、支え合えたら、
だれにとっても暮らしやすい街になる。」

発達障がいがある人、その家族、関わる私たちの日々の悩みや喜びを、
地域の方々と共有して「福祉力」に変えられたらいいなあ・・・」
そんな願いをもって、このサポーター講座を企画しています。

今回のサポーター講座は・・・

ゲストの小児科医からのミニレクチャーで、
発達障がいについて、基本的な理解をした後、
当事者の体験談を聴いて、具体的な悩みや不安を知り、
その後は、みんなでわいわいがやがや、話し合しましょう。
発達障がいの特性ゆえに、苦手なことが様々ある中、
本来の力を発揮して活躍するために、
どんなことが必要になってくるのでしょうか？
当事者の発信や工夫、同僚の職員の工夫や配慮を
ぶっちゃけトークで「へ～そうなんや」「なるほど～」と発見し、
子どもの育ち、子育ての中で大切にしていきたいことを
みんなで考えていけたら、と思います。

館長：西尾久美